

こんにちは もうり栄子です



11月県議会 一般質問に登壇（12月2日）

長野県は昨年も大きな災害に見舞われ甚大な被害をこうむりましたが、新型コロナウイルスも猛威を振るい「医療非常事態宣言」が発せられました。年末は世界的な原油高騰のあおりを受けて灯油が前年同月比で3割も値上がり「とてもやっていけない」と悲鳴が上がりました。

住民要望や党地方議員の奮闘もあってほぼ77の全自治体で福祉灯油実現の運びとなりましたが命と暮らしを守る政治がますます求められています。

新しい年が希望の持てる年になるよう引き続き頑張っています。

県として生活困窮者への光熱費補助を

県内で福祉灯油を実施する自治体が広がりつつあり、国では実施自治体に特別交付税で措置するとの方向を示しました。なかなか実施に踏み出せていない自治体を後押しするためにも、県として生活困窮者に対し、光熱費の補助を実施する自

治体に半額を負担するなど、積極的な支援策を講じていただきたいと求めました。

健康福祉部長は市町村において支援の必要性を判断してもらうため国からの交付税措置に関する情報を速やかに提供すると答えたのみでした。

リニア中央新幹線工事の安全性が担保されるまで工事の中止を

豊丘村の伊那山地トンネル坂島工区で11月8日に発生した崩落事故について、事故原因の調査も再発防止対策もできていない中で、どんどん工事を進めることは作業員を命の危険にさらすことであり、原因究明と再発防止対策が明確になるまで、

県内の全ての工事は中止するようJRに求めていただきたいと知事に質問。

知事は工事を中断している坂島工区への対応も含めて、JR東海に対してどのような要請が必要か、十分に精査した上で検討していきたいと答弁。



福祉灯油の相談を受ける

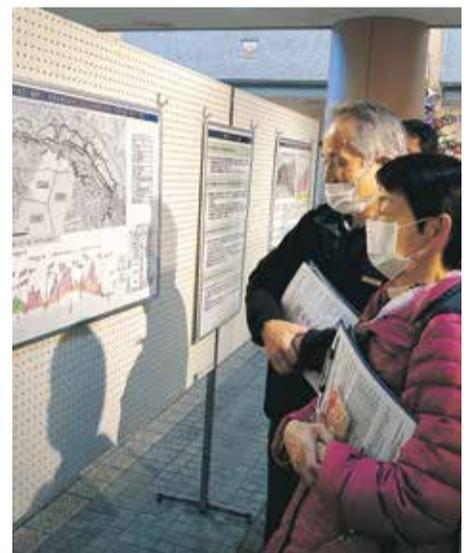
特別支援学校の環境改善は急務

校舎の老朽化や教室不足、長時間にわたる通学をはじめとして各学校の差し迫った現状や声にどう応え、新年度具体的にどう着手するのか。新たな「設置基準」に応えるためには分校や分教室などの応急対策でなく新設校が必要ではないかと質問。

教育長は早急な対応が必要な松本養護学校と若

槻養護学校については検討懇談会を開催し、保護者や関係者等から意見を聞いてきたので、できるだけ早期の環境整備に努めていく。長時間通学者の解消はニーズを把握の上、必要な対応に努める。

新設校については今後の児童生徒数の推移を見極めまずは「設置基準」を満たした整備を進める方策を検討していくと答えました。



国道20号諏訪バイパスのオープンハウスで展示を見る（12月21日）

環境文教委員会で質問

霧ヶ峰自然保護センター機能の充実を

霧ヶ峰自然保護センターの管理運営を県直営から諏訪観光協会に指定管理が移行し、リニューアルされるのを機に、自

然保護と利用の観点から、展示内容の充実・更新、利用者増とともに鹿の食害、外来植物、森林化から貴重な自然を守るこ

と、エコツーリズムの拠点としての機能の充実、絵葉書やバッチなどグッズ販売のアピールを求めました。



日本共産党県議会報告

No. 11 2022年1月 【2021年11月定例議会報告】

ご意見・ご要望をお寄せください。

発行／日本共産党長野県議団 〒380-8570 長野市南長野幅下692-2 長野県議会日本共産党控室
TEL 026-237-6266（直通） FAX 026-237-6322
E-mail jcpngnkd@avis.ne.jp ホームページ <http://www.jcpnagano-kengi.jp/>

